



減圧式金型冷却装置

真空金型冷却で鋳造製品の品質アップに貢献

外
発注可
企画力
自信有
オリー
ワ技術
メイドイン
ジャパン

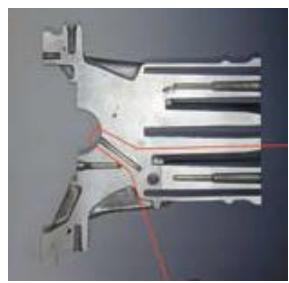
株式会社 ジェイエフティ

業務
内容

より高速でより精度の高い
金型冷却装置を提供

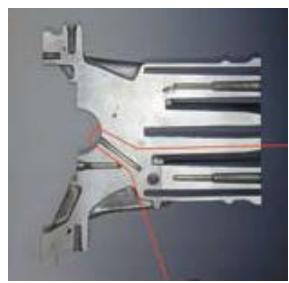
た後、即決したケースもあるほどだ。

大阪
23



技術指導やコンサルタントで
継続的なサポートを

サポート力



主な事業内容
鋳造材料・設備・金型の販売、鋳造技術のコンサルタント等

主な取引先(納入先)
自動車メーカー、自動車部品メーカー、ダイカスト加工会社等

住 所 / 〒563-0056
池田市栄町2-1
池田阪急ビル4F
T E L / 072-753-8855
F A X / 072-753-6130
創 業 / 平成6年11月
設 立 / 平成6年11月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 5名

<http://www.supercool.co.jp/>

かつてマツダ系列の会社で技術販売をしていた峰本社長は、当時高価だった金型冷却装置をもつと安価で提供したいと考え、ジェイエフティを創業した。以降、鋳造設備や金型の販売を行っている。中でも引き合いが多いのが、真空式金型冷却装置だ。高真空状態で金型に冷却水を通することで、クラック箇所からの水漏れを防ぎ、成形サイクルの短縮を実現。さらに配管内の異物や反応物等を、バキュームで一掃できるため品質が向上するのが特長だ。

高い技術開発力で 樹脂業界からも注目

ジェイエフティの強みは高い技術開発力にある。技術顧問にダイハツ工業のO.Bを迎え、現場のニーズに対応しているからだ。鋳造の場ではヒートクラック(割れ)が発生するが、従来ではその都度製造の手を止めてメンテナンスをする必要があった。また冷却水路は金型から30mmほど離していたが、同社の製品は5mmまで近づけることが可能。そのため冷却効率が高く、クラックが起きててもすぐに吸引できるため作業が継続でき、作業効率のアップにつながるのだ。また、冷却水の流れが均一でスマーズな点も大きな特長といえる。

以前はアルミダイカストがメインだったが、近年は樹脂業界からの問い合わせが増えているという。高品質を求めて同社を探し当てたという企業もあり、デモ機を貸し出して2時間試してから、即決したケースもあるほどだ。

今後の展望

技術を伝え
ものづくりに貢献したい

冷却金型が主流ではなかつた欧米でも近年は冷却に関心が集まっているが、技術が追いついていないのが現実。「まだまだ改善する余地はある」と峰本社長。現場を知り尽くしているだけに、さまざまなお悩みを解決しながら鋳造業界に新風を吹き込こむべく、グローバルな展開を目指している。



平成6年に創業し、鋳造や金型を中心に設備開発をしてきました。平成19年には、減圧式金型冷却システムで池田銀行の「地域起こし大賞」(ニュービジネス助成金)を受賞。当社の自慢の製品で、特許申請中です。おかげ様で引き合いも多く、デモ機を持参し実演と説明つきでアピールしています。今後も生産性と品質の向上を目指し続けます。

まだ歴史の浅い会社ですが、経験を活かしてより高い技術を提供します。

代表取締役 峰本 方幸さん

